

平成 24 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

Table with columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後). Includes details for 'フォレストロード整備事業'.

Table with columns: 事業費及び財源内訳 (千円), 事業活動の実績 (活動指標). Includes sub-tables for '事業費' and '財源内訳'.

Table showing '向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)' with columns for 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, and 5年間の合計.

Table for '成果指標' and '指標設定の考え方' with columns for '区分年度' (23, 24, 25, 29, 32年度) and '実績/目標'.

今年度の課題への対応状況 (途中経過)

Main evaluation table with columns: 事業の事業, 自己評価(担当者), 一次評価, 評価. Includes criteria like '目的の妥当性', '町民ニーズへの対応', '事業の効果', '成果向上の可能性', '施策への貢献度', '手段の最適性', 'コスト効率', '受益者負担の適正'.

事務事業名	フォレストロード整備事業	予算事業名		担当課	田園都市課
会計名称	一般会計	予算科目	8 款 5 項 2 目	所属長名	大穂 正巳
総合計画での位置づけ	豊かな自然と暮らしの便利さが調和したまちをつくる			担当責任者名（記入者）	井上 英貴
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等		
事業の対象			実施期間	【開始年度】	平成 23 年度
				【終了年度】	平成 32 年度（予定） <input type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	メディカルヘルスゾーンの周辺に、遊歩道や緑地帯を整備することにより、町民の健康維持・増進を図るために、フォレストロードを整備する。		事業の内容	遊歩道 1.3km、広場 8箇所（7,125㎡）	
改善策の具体的な取り組み（当初）	整備費が高額とならない様に、シンプルな遊歩道の整備としている。		改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	地形等を考慮し、構造物等が極力減少するような計画としている。	

（自己評価） （担当者） 評価	妥当性	目的の妥当性	4	B	B	4	目的の妥当性	妥当性	一次評価		
		町民ニーズへの対応	3				4			町民ニーズへの対応	
		町の関与の妥当性	4				4			町の関与の妥当性	
	有効性	事業の効果	3	B		3	事業の効果			有効性	
		成果向上の可能性	4				4				成果向上の可能性
		施策への貢献度	4				4				施策への貢献度
	効率性	手段の最適性	4	B		4	手段の最適性			効率性	
		コスト効率	4				3				コスト効率
		受益者負担の適正	3				4				受益者負担の適正
課題認識	「ヘルシーフォレストひさやま」で計画された事業で、その計画を再度見直した内容となっていることから、早期の完成が望まれる。				自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、評価したもの。				当初の計画を見直し、実現性のある計画でもあるので早期の完成が望まれる。		課題認識

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/> 一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/> 町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。
			行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 【評価 B：事務事業の進め方の改善を検討する必要がある】 まず対象者を明確にし、町民のニーズを具体化した上で、事業を進めていただきたい。段階ごとに評価と見直しを行うことも必要である。景観の良い遊歩道を町民の健康づくりに活用できるような事業展開をお願いしたい。
------------	------	---

経営者会議の最終判断	事業の方向性 <input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄 本事業は、ヘルスC&Cセンターを拠点とするメディカルヘルスゾーンエリア内に整備する健康遊歩道であり、自然の豊かさを享受できる空間として、森林浴をしながら湖畔を散策したり、ジョギングすることにより体力を増進させるなど、町民の心身のリラクゼーションと健康づくりの場として整備するものである。併せて、レイクサイドホテル久山やトリアスなど町外から訪れる人々に対し、町の魅力を伝える観光交流の場としての役割も期待できる。 事業目的を達成できるよう住民ニーズを的確に捉え、施設利用対象者を明確にし、詳細設計に反映する必要がある。 また、一部施設の完成に伴い副町長主導のもと関係部署と早急に協議し、管理運営を開始するものとする。
------------	--	--